

平成28年度 緑区地域活性化支援事業 補助金交付団体一覧

I 地域づくり活動支援コース

No	団体名	活動・事業名	事業の目的	取組内容	実施場所	期待する効果・成果	交付決定額(円)	審査委員会コメント
1	ちーばば会	パパの子育て・家庭・地域活動参加活性化事業	土気あすみが丘地区を「家族を笑顔にさせちゃうパパ」でいっぱいにする。(パパの子育て・家庭・地域活動参加の活性化)	①共働き家庭の増加によるママの負担軽減のため、「パパの為に、ママと子どもが喜ぶ料理教室」 ②家族以外のコミュニティを知るために、「本気で子ども達と遊ぶ会」(様々なパパや子どもの交流) ③言われたらやるつもりはあるが何をしたいかわからないパパのための「パパワークショップ」(講座や意見交換)	主に土気あすみが丘地区(土気あすみが丘プラザ、やすらぎ公園、昭和の森公園)	顔見知りのパパや子ども達が増え、あいさつ・交流が増える。 「家族を笑顔にさせちゃうパパ」が増えて、笑顔の家族が地域に増える。	150,000	男性の子育て参加が求められている中で、子育て世代、当事者の主体的な活動であり、パパの子育てや社会参加を促す内容であることを評価します。 運営側のスタッフの確保、参加者増へのPR方法などを更に工夫し、父親の地域デビューを促す活動が、団体だけでなく、自治会等の地域に広がることを期待します。
2	おゆみの道・緑とせせらぎの会	おゆみの道の魅力発見プロジェクト パート3	おゆみの道の優れた環境を維持向上させるとともに、住民が楽しみながら四季折々の活動を行うことにより、住民の地域への愛着、誇りを醸成し、また、住民間の交流を促進し、「生活の質」向上を図る。	①観察会などで生き物の生息状況を継続的に調査 ②ネイチャーウォーキングの定期開催 ③絶滅危惧に瀕している動植物の生育環境回復活動への参加を地域住民に呼びかけ ④水質検査の充実と、地域住民への情報提供 ⑤おゆみの道の生き物ハンドブック3の発行	泉谷公園 有吉公園 大百池公園 おゆみの道	・おゆみの野の自然に愛着を持つ人、楽しみながら美化に関心を持つコミュニティが広がること。 ・多くの住民がおゆみの野の自然を守る活動に参加し、貴重な生き物を将来に伝えること。 ・活動での世代間・地域間の交流は、地域コミュニティの活性化に大きく貢献する。若い層が牽引力となり「活力ある子育てし易く、シルバー層もいきいきした街」であり続けよう、活動を引き継いでいくこと。 “おゆみの野をもっと良い街に”	200,000	積極的な活動により、地域の魅力向上に貢献しており、自然環境の改善や地域愛の醸成などこれまでの活動の成果が上がっていると感じます。また、事業目的、事業計画、収支計画が明確である点も評価できます。 今後もさらに多くの世代に参加の輪を広げることや、活動財源の獲得により、活動を継続してほしいと思います。
3	やまぼうし たすけあいの会	やまぼうし 助け合い事業	おゆみ野やまぼうし自治会内居住者で、日常生活に支障をきたしている方々を対象に、住み慣れた地域で、安全・安心な暮らしを続けられるように必要な支援等を行う。	①家事周りのたすけ合い活動(庭の除草・剪定、簡単な大工仕事、買い物等) ②ラジオ体操、グランドゴルフ等 ③公園及び道路でのゴミ拾い ④防災活動 ⑤イベントの開催(ゴルフ大会、ウォーキング、芋煮会、BBQ、各種講演会等)	やまぼうし自治会内等	助けあい活動及び各種イベント等を通じ、人と人とのつながりができ、明るく、安心・安全な住みよい街づくりに寄与する。	100,000	地域で孤立しがちな高齢者や障害者に対して、家事周りの支援やコミュニケーションの場づくり等に取り組む、さらには、地域の環境美化・整備にも取り組まれており、着実に成果を上げていると思います。地域での助け合いの意識を持ち、実際に行動を起こし、地域に浸透させる活動であり評価します。今後も、支援対象者の拡大、後継者の発掘・育成、活動資金の獲得等により、活動の拡充を期待しています。
4	NPO法人 Hands for others	手を繋いで笑顔のまちづくり	子ども達の健やかな心身の育成とともに、幅広い年代層が住む地域の世代間交流の場作りを積極的に促進し繋げていく。地域のママやシニアの方々が講師の講座開催等により、交流を図るとともに、子ども達に「創る喜び」と「コミュニケーションの大切さ」を学ぶ機会と場を提供する。	①親子でどうぞ！ “子育てママ達のおしゃべり広場” “懐かしの歌広場” ②1週間の夏講座(夏休みの子どもの居場所作りを中心とした各種体験講座)	おゆみ野、鎌取周辺	子ども達の心身の健全育成と世代間交流が活発になり、助け合いが円滑にできる環境になること。	155,000	転入者が多いという特性がある緑区において、交流の場を継続的に運営し、子どもの居場所づくりや地域での世代間交流促進に貢献していることを評価します。参加者数が増え、PRの強化等により、参加を促すことに努めてください。また、より地域ニーズに沿った内容の講座開催や、参加者が企画・運営に関わるような仕組みを作り、地域に浸透する活動になってほしいと思います。補助金終了後の活動継続を見据えて今年度の活動に取り組むことを期待します。
5	NPO法人ママの働き方応援隊 千葉おゆみ野校	赤ちゃん先生プロジェクト	・緑区での子育て中の母親の孤立や鬱・虐待の防止 ・母親が地域にとけこめるよう支援 ・母親同士の情報交換・交流 ・子どもと一緒に社会とつながり、人の役に立つ為の支援	赤ちゃんとその母親が教育機関や高齢者施設・婚活などに出向き、赤ちゃんとのふれあいを通じ、今の自分や過去の自分を振り返り、それぞれに合った感じ方をしてもらう活動。	おゆみ野南中学校、老人ホーム、他	子育て中の母親の孤立・鬱・虐待を解消していきたい。子育て中の母親が子供と一緒に社会とつながり、人の役に立つことで自信が持てるようになる。その他、社会問題にもなっている、いじめ・虐待・自殺などを無くしていきたい。	186,000	子育て中の母親の孤独解消と小中学生のいじめ防止などにつながる取り組みであり、社会参加の機会が少ない子育て中のママの主体的な事業であることを評価します。小学生から高齢者まで幅広い年代を対象に、「他人のことを思いやること」ができる社会の構築につながるよう、事業対象の拡大に努めてほしいと思います。
6	アートタウンおゆみ野	文化芸術を活かした地域のまちづくり	・文化芸術やおゆみ野の特性・資源を生かしたまちづくりの推進 ・文化芸術を支える人材の育成と活躍の機会の提供 ・地域の人たちが身近に文化芸術に触れる機会の提供	①アートイベント・プロデュース講座 ②音楽会 ③おゆみ野歴史講座(まちの歴史や記憶をたどる写真展、歴史講座や貝塚体験) ④大人・子供・親子合唱団の結成 ⑤おゆみ野情報紙の発行 ⑥おゆみ野文化祭 ⑦おゆみ野に伝わる食文化	鎌取CC ちばぎんホール	・アートイベント・プロデュース講座の受講者が、イベントの制作統括や運営スタッフとして各団体にに関わり支援していくこと。 ・おゆみ野文化祭参加者が情報交換を行い、連帯感を深め、互いにレベルアップすること。 ・子供たち自身の企画によって文化活動の場を盛り上げていくようにする。 ・住民が自ら音楽会等を企画して楽しみ、地域に提供し合う、文化や芸術があふれるまちになる。 ・情報紙の提供により、地域の団体を周知し、住民のイベント参加機会が増え、おゆみ野の文化・芸術の素晴らしさを実感してもらう。	200,000	おゆみ野文化祭等のイベントを通して、地域の文化・芸術の振興に寄与する活動には実績があり、地域資源(人材、もの、場所)を活かした事業内容であることを評価します。多くの地域住民の参加が見込まれ、文化・芸術を通じた街の魅力発信につながる取り組みです。すでに熟度の高い活動ですが、今後も活動の幅を広げ、特に貴団体が課題と捉える「行事の主催だけでなく、他団体のサポートをしていく」ことは地域にとって有意義ですので、企業との連携も進め、さらに成熟した地域活動となることを期待しています。
7	特定非営利活動法人 ウェルネスライフパートナーズ	「緑わくわく体操」で多世代交流・健康増進・介護予防の仕組み作り ～地域リハビリテーションの推進～	早急な地域包括ケアシステム構築が必要だと考えている。平成27年度に「緑わくわく体操」を制作し、地域主体の健康増進・介護予防支援を開始し、平成28年度には「緑わくわく体操kids」を制作、実施し、子どもの頃から身体を動かすことに親しめるようにしていく。また「緑わくわく体操」を平行して利用することで、多世代に渡り楽しみながら体を動かし、交流できると考えている。支え合いを感じる地域にしていきたいと考えている。	・「緑わくわく体操 for kids」体操の制作、パンフレット・DVDの製作 ・「子供の成長発達における運動と生涯教育としての健康増進活動」についての講習会と体操の提供 ・地域リハビリテーションの仕組みづくり ・参加団体へのDVD等配布による体操の継続 ・体操支援員による体操サポートの継続 ・地域のイベントにて、「緑わくわく体操」と「緑わくわく体操kids」にて多世代合流での体操実施を試みることを目指す。	おゆみ野地域	・既存の子ども団体「緑わくわく体操」を取り入れる。 ・地域のイベントの時に「緑わくわく体操」を取り入れる団体ができる。 ・27年度に育成した体操支援ボランティアが体操を継続し、仲間が増える。 ・地域の運動支援に関わる専門職によるリハビリチームのネットワークの作成 ・多世代(子どもから高齢者)で、「緑わくわく体操」が実施できる。	200,000	高齢者の健康増進・介護予防の仕組みづくり、また介護予防を通じた多世代間交流の取り組みであり、実施団体の専門性を活かした事業内容であることを評価します。「緑わくわく体操」の普及が進んでいるので、地域のイベントを上手に活用して、体操を広め、定着させ、参加者の増加や緑区民の健康づくりに対する意識向上を期待します。さらに、自治会など地域組織との連携等により、体操支援員の養成やPRについて、より一層工夫されることを期待します。
8	みずき・かつら街おたすけ隊	助け合い家事援助事業	みずき・かつら街自治会は、30年以上が経過し、高齢者の多い自治会となっている。ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう必要な支援を行う。	自治会内の高齢者が日常生活で困っていることをお手伝いする。(生活必需品の買い物、電球・蛍光灯の交換、簡易な家具の移動、部屋・浴槽の掃除、庭掃除、障子・網戸の張替え等) 自治会員が参加するイベント(夏祭り、体育祭等)を盛り上げるために協力していく。	みずき・かつら街自治会	自治会の高齢化が年々進んでいく中で、おたすけ隊の活動を自治会の活動事業に取り入れ、次の世代に引き継いでもらい、高齢者が安心して暮らせる街にすることを期待する。	50,000	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中で、日常生活の支援やイベント開催等により、安心して暮らせるまちづくりを推進する。地域の課題に沿った事業です。介護保険制度が改正され、地域による高齢者への生活支援が求められているなか、有用な事業であり評価します。
9	鎌取町内会みまもーる	鎌取町内会みまもーる	独居の高齢者又は高齢者世帯の方々の体調やお困りごとを聞きながら、心のやすらぎを与える。見守りを行うことで事故発生を未然に防ぐ。	①見守り活動 ②構成員全体会議を実施。社会福祉協議会緑区事務所やあんしんケアセンター鎌取の協力を得て、情報交換を行う。 ③町内会員に「かわら版」をつくり、活動情報を発信する。	鎌取町内会全域	高齢者の方々のひきこもりがちへの話し相手、また町内会活動への認識をもってもらおう。	50,000	ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯の支援に寄与する事業であり、着実に成果をあげています。地域住民による高齢者の見守り活動は、高齢者に安心感を与えるとともに、地域の連帯感の醸成にもつながります。地域の実情に沿った活動であり、これまでの実績とあわせて評価します。
10	古市場団地お元氣確認委員会	古市場団地での見守り活動	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、体の不自由な方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう日常生活を見守る。また異常の早期発見に努める。	・高齢者宅(現在25件)をボランティアが電話や訪問により定期的に見守る ・ボランティア連絡会議(2か月に1回) ・ボランティアの資質向上を目的に研修会を実施(年1回)	古市場団地内	集合住宅特有の核家族世帯が多い中、住民同士で支え合う関係性が構築される。平常時の見守り活動が災害時等でも機能するように向こう三軒両隣の見守りが(声がけ)できるようになる。	50,000	ひとり暮らしや高齢者世帯が安心して暮らせる地域づくりに寄与する事業であり、地域の課題に沿った事業内容であることを評価します。地域の交流が増えることや、担い手の確保等により活動が発展的に継続することを期待しています。

No	団体名	活動・事業名	事業の目的	取組内容	実施場所	期待する効果・成果	交付決定額 (円)	審査委員会コメント
11	ウエルエイジングの会	楽しく長生きするために・・・ウエルエイジングの考えで・・・	・ウエルエイジングとは上手に年を重ねる、加齢を抗うのではなく、楽しく、健康に、穏やかに年をとること。認知症・病気や介護の無いよう健康寿命を延ばしていく。 ・高齢者が居場所を見つけることで孤立を防ぎ、高齢者同士が交流を深め支え合っていく地域づくりを目指す。	月1回、高齢者の居場所提供・交流づくりとして以下の活動を実施 ・あんしんケアセンター：健康についての話・脳トレ・体操・相談支援等 ・緑保健康福祉センター：歯と口の健康の話。健康の話。 ・お楽しみ会、季節ごとイベント、情報交換、体操、歌、おどろ、ゲーム、他	おゆみ野公民館	・上手に年を重ねる、加齢を抗うのではなく楽しく健康に穏やかに年をとることができる場、居場所となること。 ・高齢者同士、交流が増え孤立しない社会をつくること。 ・必要な知識を学び、いざという時に問題を解決できるように、地域で支え合えるようになってほしい。	50,000	孤立しがちな高齢者の居場所をつくり、交流を深め、支えあう地域づくりは、地域の課題に沿った有意義な活動であり、参加者が増えているなどの実績もあり評価します。今後、身近な場所での開催や保育園・幼稚園児とのふれあいなどの拡充を検討していますが、活動の場が地域でより広がり、参加人数が増え、健康寿命の延長につながっていくことを期待します。
12	つばさ子ども会	通学路の美化から始まるきれいで安全なまちづくり事業	通学路上に、不法投棄されやすい場所があり、ゴミの撤去後も、1つ不法投棄があると後から後からゴミが捨てられゴミの山のようになっていく。ゴミが散らかっている場所は犯罪が起りやすいと聞き、それならば積極的に花を植えて、汚い、暗い場所から、きれいで明るい場所にして、不法投棄の撲滅に寄与したい。	不法投棄される場所に花壇をつくり、手入れをし、きれいなまちづくりをする。古くからその場所に存在し、町内自治会や周辺住民も管理していない、道路上の老朽化したゴミステーションがあり、その周辺に次々と不法投棄されるため、ゴミステーションの移設、管理を町内自治会、近隣住民と共に検討していく。	誉田町1丁目 外房有料道路トンネル付近のゴミステーション近辺	・不法投棄がなくなり、きれいで安全な通学路が確保されること。 ・住民自らきれいな町をつくるという意識が子ども、大人とも芽生えること。	49,000	不法投棄されやすい通学路に花壇づくりを進めることで、地域の美化と住民同士の交流促進に寄与しています。子ども達に社会貢献活動を経験させる取り組みであり、地域の課題に主体的に取り組んでいる点を評価します。今後の継続的な活動に向けて、活動基盤の強化を期待します。
13	学校サポート隊	学校サポート隊	子ども達との関わりを深め支援することを通して、健やかな成長を促すとともに、地域の人々が子ども達の幸福を願っていることにも気づいてもらい、家庭・地域との連携を築き、子ども達に地域に生活する住民の一員であることを自覚させる。学習のつまづきによる不登校の子どもを少なくするために算数の基礎基本を身につける手助けをする。	①あいさつ運動 ②花植え活動 ③算数教室 ④名人と遊ぼう ・お手玉・ペーゴマ・竹馬等の昔遊び ・田植え、野菜づくり、縄跳び等	有吉中学校 有吉小学校 扇田小学校	・住民が全国から集まり新しくできた街であるおゆみ野地区で、子ども達に地域の方々と共に活動する楽しさを体験させ、支え合いの大切さを知らせたい。 ・おゆみ野を愛し、より良い街にするために貢献する大人へと成長することを期待する。	50,000	子どもたちの健全育成と地域の絆づくりに寄与する活動であり、世代間交流を通じて小中学生に住民意識の自覚を促そうとしている点や、複数の学校での実施など、地域の課題に主体的に取り組んでいることを評価します。
14	NPO法人越智メダカの会	学校ビオトープを活用し地域住民と子供の結びつきを高める活動	学校ビオトープは、自然を身近に感じ取る施設として学習に活用されている。この施設を活用して、地域住民と子供の関わりを深め、大人と子供が信頼関係を築き、地域の活性化に資することを目的とする。	自然とのふれあいや昔遊びなどを通して、大人と子供がふれあう機会を構築する。 ・学校ビオトープ維持管理活動への積極的な参加 ・学校ビオトープ及び学校周辺の自然観察会の実施	越智小学校学校ビオトープ 大藪池周辺	虫や草花に関心を持ち身近な自然とかかわりを持つ子供たちと、それを温かく見守る大人たちから、笑顔と喜びの声がふられる、安心して住みやすい町となる。	50,000	地域環境保全の促進につながる活動で、子ども達が自然に触れ合う機会を提供していることや、学校内のビオトープの維持管理を通じ、子どもの社会参加を促している点を評価します。小学生と地域住民を巻き込み、地域の環境保護・保全への取り組みをこれまでも実践されており、今後の活動の拡充を期待します。
15	オレンジカフェ たんぼぼ	認知症カフェ&ケアラズカフェ	国の認知症施策である新オレンジプランの施策の一つである認知症カフェ、ケアラズカフェの実施、運営を行う。認知症の人も介護をする人も、日頃の思いや情報交換など気兼ねなく参加できる場所づくりを目指す。悩みを抱える人の孤立を防いだり、より良い介護のための情報共有や発信する場所を目指す。	オレンジカフェ(認知症カフェ、ケアラズカフェ)を月1回より開催する。認知症、介護に関する情報交換や悩みや愚痴の言える息抜きの場所づくり。専門職の協力を得て、専門職のアドバイスを行える機会も作っていく。	あすみが丘ファミリーホール	認知症のみでなく、介護や障害などの悩みなどを持つ方が孤立せず、同じような立場の人と情報が共有できる場や情報発信できる場を提供していく。また、ボランティアなど世代を問わず、いろんな世代が集まれる場所づくりを目指す。	50,000	認知症や介護で悩んでいる人々の負担軽減につながる取り組みです。国が進める施策でもあり、社会情勢を反映した地域の課題に主体的に取り組んでいる点を評価します。メンバーを増やし、事業を継続させ、今後、他の地域で取り組む場合のモデルとなるように活動を軌道に乗せられることを期待します。
				計			1,590,000	

III 地域拠点支援コース

No	団体名	活動・事業名	事業の目的	取組内容	実施場所	期待する効果・成果	交付決定額 (円)	審査委員会コメント
16	みんなの広場	地域公益活動を支える拠点事業	おゆみ野地域には、地域づくりに関わる個人や団体があり、活動を支えるための環境整備が求められている。活動しやすい環境を備えた場の提供をし、公益的な活動をしている個人や団体に活動準備の場や情報を提供し、新たな活動に取り組む個人や団体にはその相談に応じ、情報収集を支援する。また親しみやすい拠点となるために、自由に入出りができ、交流を図る機会を設ける。さらに、大学と連携することにより、地域が必要としている専門的知見と若者の力の活用とともに、学生の経験値も高まることを期待する。地域の個人や団体、そして大学や学生がつながる機会と場を作り、地域活動に取り組みやすい環境を持つ拠点を整備する。	・地域ですでに定着しているイベント等の活動支援の場 ・高齢者の孤立を防ぎ、新たな制度を学び合うためのサロン開催 ・集団学習に馴染まない子どもたちの学習支援 ・地域課題や社会課題に関する勉強会の開催 ・子育て支援として、子育てママが主体的に企画するマルシェを開催 ・個人や団体が研鑽して蓄積した技能を発表しあう ・寄せられた情報を整理し、発信する 拠点ができることにより、これまで以上に積極的に学生の関わりを促す。多世代の居場所運営に関して学生のアイデアを取り入れ、ハードソフト両面の企画運営に携わる。大学との関わりについては、コミュニティ政策に取り組む淑徳大学青柳ゼミを通じて、大学の資源を活用し、地域の知見を豊かにする一方、大学や学生のフィールドの一つとして、みんなの広場は積極的に協力する。	「みんなの広場」 おゆみ野地域	・孤立して活動していた団体やそのイベントが、互いに情報共有や連携することにより、企画力と実践力が高まり、団体や地域のクオリティが上がる。 ・企画運営者のノウハウの蓄積により、イベントのクオリティが高まり、参加参加者が増える。 ・活動サポートの場が認知されることにより、新たなチャレンジをする人材が増え、地域や社会へ参画のハードルが下がり、より多くの人たちが地域運営に関わるようになり、地域が活性化する。 ・若者との連携により、地域に新しい風が吹き、子どもや高齢者が元気な地域になる。	1,335,000	地域のニーズに沿った事業内容で、公的な施設では実施が難しい内容であり、本事業により地域活動しやすい環境が整うことで、様々な地域活動の活発化や交流の増加などの相乗効果も期待できることを評価します。また、大学との連携により地域・学生の双方にメリットがある点も評価します。事業目的、事業計画に沿った事業実施により、様々な団体がいつでも、自由に拠点として利用でき、情報収集・共有・発信の拠点となることを期待します。また、拠点運営に関わる人を増やし、地域住民の主体性を高めていく事も期待します。

全コース合計 交付件数 16件 交付決定額 合計 2,925,000
(3コースの予算額) (3,000,000)